



社協だより りんどう77

Spring

南小国町の福祉・ボランティア情報誌

編集・発行：南小国町社会福祉協議会・ボランティアセンター

TEL：0967-42-1501

FAX：0967-42-1505

E-Mail：rindouso@mogbb.jp

✧本誌の内容✧

- ★令和2年度社協会費・日赤会費報告 p1
- ★令和2年度赤い羽根共同募金報告 P2
- ★ご寄附のお礼 P3
- ★新型コロナウイルスから考える福祉学習会 P4
- ★チャレンジ小国GO！
小国高校生ボランティア学習 P5～6
- ★第16回晴ればれりんどう
ボランティアの日活動報告 P7



11月8日(日) 9:00~11:00

南小国町ボランティア連絡協議会は、南小国中学校生(43名)等と一緒に7ページ記載の1の活動を行いました。

社会福祉協議会会費

令和2年度 社協会費実績報告

一般会員(各世帯)898戸 453,000円
一般会員(個人)・特別会員(事業所)
16名(27口) 13,500円

466,500円



たくさんのご協力有難うございました。

★大字赤馬場 (敬称略)

田中 10戸/千光寺 12戸/竹の熊 21戸/新町1 23戸/新町2 29戸/新町3 20戸/上町1 14戸/上町2 16戸
上町3 13戸/本町1 9戸/下町1 10戸/下町2 8戸/赤馬場 12戸/脇戸 17戸/矢津田上 14戸/矢津田下 14戸
県営矢津田住宅 6戸/町営矢津田住宅 5戸/杉田下 16戸/杉田中 7戸/中杉田 15戸/杉田団地2組 2戸
中杉田3 6戸/上杉田自治会 16戸/鬼山 8戸/鬼山上 4戸/森園 12戸/黒原 9戸/中村 8戸/布目 2戸/馬場 12戸
戸無 2戸/滝の口 4戸/黄川 4戸

★大字中原

和田上 7戸/瓜上上 14戸/瓜上下 6戸/瓜上仲 3戸/中原団地 9戸/米山 9戸/米山上 10戸/落見 15戸/地藏原 8戸
松の木 5戸/坂の下 9戸/田尻・轟 17戸/平瀬 8戸/樋の口 13戸/中湯田 16戸/湯田上 14戸/古賀 8戸/矢田原 8戸

★大字満願寺

志賀瀬 6戸/荒倉 1戸/平 7戸/手形野 4戸/動目木 8戸/志童子 7戸/志津下 11戸/志津中 14戸/志津上 18戸/満
願寺団地 5戸/扇下 8戸/扇上 12戸/立岩 13戸/薮原 4戸/小原 2戸/矢ヶ部 5戸/永山 5戸/星和 14戸/吉原 17戸
小田 9戸/白川 14戸/瀬の本 6戸/大谷山 13戸/黒川自治会 57戸/田の原自治会 32戸/高花 10戸/長迫 8戸
鬼淵 6戸/陣内 14戸/波居原下 9戸

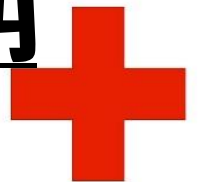
★一般・特別 下田征五/北里陽子/長尾高明/柑十子/後藤久子/山村晃一/佐藤和久/芳嶋洋/匿名8名

日本赤十字社会費

ご協力有難うございました。

令和2年度 日赤会費実績 441,500円

日本赤十字社は、国内はもとより全世界の平和と福祉増進の為、たゆみない活動を
続けており、毎年のように起きている甚大な災害等にも迅速に対応できるように
準備されております。これもひとえに、皆様方のご協力の賜物と心より感謝申し上げ
ます。本年度も12月21日に送金いたしましたので、ご報告致します。(敬称略)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

★【大字赤馬場】

田中 10戸/千光寺 12戸/竹の熊 21戸/新町1 23戸/新町2 29戸/新町3 20戸/上町1 14戸/上町2 16戸
上町3 13戸/本町1 9戸/下町1 10戸/下町2 8戸/赤馬場 12戸/脇戸 17戸/矢津田上 14戸/矢津田下 14戸
県営矢津田住宅 6戸/町営矢津田住宅 5戸/杉田下 16戸/杉田中 7戸/中杉田 15戸/杉田団地2組 2戸
中杉田3 6戸/上杉田自治会 16戸/鬼山 8戸/鬼山上 4戸/森園 12戸/黒原 9戸/中村 8戸/布目 2戸/馬場 12戸
戸無 2戸/滝の口 4戸/黄川 4戸

★【大字中原】

和田上 7戸/瓜上上 14戸/瓜上下 6戸/瓜上仲 3戸/米山 9戸/米山上 10戸/落見 15戸/地藏原 8戸/松の木 5戸
坂の下 9戸/田尻・轟 17戸/平瀬 8戸/樋の口 13戸/中湯田 16戸/湯田上 14戸/古賀 8戸/矢田原 8戸

★【大字満願寺】(敬称略)

志賀瀬 6戸/平 7戸/手形野 4戸/動目木 8戸/志童子 7戸/志津下 7戸/志津中 13戸/志津上 18戸/満願寺団地 5戸
扇下 8戸/扇上 12戸/立岩 13戸/薮原 4戸/小原 2戸/矢ヶ部 5戸/永山 5戸/星和 14戸/吉原 17戸/小田 9戸
瀬の本 6戸/大谷山 13戸/黒川自治会 53戸/田の原自治会 32戸/高花 10戸/長迫 8戸/鬼淵 6戸/陣内 14戸
波居原下 9戸

★【一般会員】 下田征五/北里陽子/橋本不可思/後藤久子/佐藤和久/芳嶋洋/匿名3名

この社協だよりには、私 明根共同募金配分金の一部を活用して発行しております

赤い羽根共同募金



令和2年度募金総額

732,476円

種別	件数	金額	説明
戸別募金	911	452,000	自治組織の組長様などを通じて各世帯にお願いする募金
個人募金	17	30,000	自治組織に加入していない世帯及び個人等を対象とした募金
法人・団体募金	5	187,034	町内企業・商店・旅館・飲食店等を対象にした募金
学校募金	3	13,273	児童生徒・教職員を対象とした福祉教育を目的とした募金
職域募金	2	50,169	町内企業等の職場（職員）を対象とした募金

町民の皆様をはじめ、町内の各事業所・関係機関の皆様から心温まるたくさんの募金をお寄せいただきました。心より御礼申し上げます。お預かりした募金は、令和3年度に熊本県内・南小国町の福祉向上のために活用致します。ご協力いただいた各地区の方々、各種団体・企業・個人の皆様をご報告させていただきます。（敬称略、順不同）

大字赤馬場

田中10戸、千光寺12戸、竹の熊21戸、新町①23戸 新町②29戸、新町③20戸、上町①14戸
上町②16戸、上町③13戸、本町①9戸、下町①10戸、下町②7戸、赤馬場12戸、脇戸17戸
矢津田下14戸、町営矢津田住宅4戸、杉田下16戸、杉田中7戸、中杉田①15戸
杉田団地2組2戸、中杉田③6戸、上杉田自治会16戸、鬼山6戸、鬼山上4戸、森園12戸、黒原9戸
中村8戸、布目2戸、馬場上12戸、戸無2戸、滝の口4戸、黄川4戸

大字中原

和田上7戸、和田下9戸、瓜上上14戸、瓜上下6戸、瓜上仲3戸、米山9戸、米山上10戸、落見15戸
櫛の本11戸、地藏原8戸、松の木5戸、田尻・轟17戸、平瀬8戸、陣の前16戸、樋の口13戸
中湯田16戸、湯田下16戸、湯田上14戸、古賀8戸、矢田原8戸

大字満願寺

志賀瀬6戸、荒倉10戸、平7戸、手形野4戸、動目木8戸、志童子7戸、志津下11戸、志津中14戸
志津上19戸、満願寺団地6戸、扇下8戸、扇上12戸、立岩13戸、薊原4戸、小原2戸、矢ヶ部5戸
永山1戸、星和14戸、吉原16戸、小田9戸、白川14戸、瀬の本6戸、大谷山13戸、黒川①6戸
黒川②7戸、黒川③7戸、黒川④10戸、黒川⑤10戸、黒川⑥11戸、黒川⑦6戸、黒川⑧4戸、黒川⑨4戸
黒川⑩4戸田の原自治会32戸、高花10戸、長迫8戸、鬼淵6戸、波居原下9戸

個人募金

下田征五、北里陽子、畔柳律子、長尾高明、橋本不可思、後藤久子、山村晃一、佐藤和久、芳嶋洋
北里信光、杉正市、穴井イツエ、匿名5名

法人募金・団体募金

おばんで〜す・くじゅうわいた展望公園・南牧場・夢乃湯龍神・香雲堂吟詠会小国支部

学校募金

南小国中学校・りんどうヶ丘小学校・市原小学校

職域募金

南小国町役場職員・南小国町社会福祉協議会職員



『南小国中学校生徒会』の皆さんが、文化祭などで募金活動を行い、集まった募金を届けて下さいました。

ご協力いただきありがとうございました！！



社協だよりは赤い羽根共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

(受付期間 令和2年7月1日～令和3年2月26日)

「南小国町の福祉のためにお役立てください。」と、たくさんの善意をお寄せいただきました。年々厳しさを増していく福祉状況ですが、“南小国町の明日への福祉”を思ってお寄せいただいたご厚意に対しまして深く感謝申し上げますと共に、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

善意へのお礼

香典返し寄附 (順不同・敬称略)

香典返し **¥730,000円**

寄付者名	物故者名	寄付者名	物故者名	寄付者名	物故者名
河津 克博	忠 男	穴井 房子	三 男	北里 良文	マ ツ ヲ
北里 光也	ウ メ カ	河津 昭子	友 善	宇都宮 久嗣	ル イ
秋好 政弥	政 雄	杉 孝男	ケ サ ヲ	室原 淳司	節 信
荒井 邦生	榮 二	宇都宮 和子	宮野 ナガミ	下城 真由美	研 一
佐藤 恭一	久 光	荒尾 アヤ子	明 徳	黒岩 みはき	敏 好
佐藤 守一	イ ト カ	佐藤 照義	節 夫	阿南 和男	工 ツ 子
井野 勝昭	ミ 工 子	佐藤 千芳	良 三	室原 親人	カ シ 子
佐藤 昭憲	次 男	松崎 郁洋	チ ズ	匿名	1 名

一般寄付・寄贈品 (順不同・敬称略)

一般寄付 **¥47,458円**

寄付者名	備考	寄付者名	備考
くじゅうわいた展望公園		森を守る会	
阿蘇パセリ		匿名	5名

寄付者名	備考	寄付者名	備考
中原 婦人会	タオル	河津 正純	敷き布団・マットレス
黒川 キミ子	手作りマスク サージカルマスク	石橋 賢一	マスク
匿名	固形石鹸	宇都宮 トモ子	折り紙飾り
馬場 優志会	門松1対 3回目	菊池 正光	紙パンツ・ビニール手袋
河津 哲文	七草セット 23回目	匿名	子ども用おもちゃ2種類

令和2年7月豪雨災害支援物資 (順不同・敬省略)

寄付者名	資材名
TAO塾	長靴・ふみぬき防止インソール・土のう袋・タオル等
杖立サテライト	軍手(ビニール製)・カップ麺・味噌汁・アルコール液等
大塚製薬	OS1
NPO法人バルビー	エンジン式高圧洗浄機・乾湿両用掃除機
風に立つライオン	ジアメディカル・浅田のど飴・除菌スプレー・マスク・ガウン 手指消毒液・フェイスシールド・手袋・アルコール除菌液 ボトルスプレーケース
久光製薬	エアーサロンパス・アイスタオル
小国町社会福祉協議会	栄養ドリンク
パナソニック	マスク

この尊い浄財は、ご寄付いただきました各位の趣意に添うべく、社会福祉のために有効に活用させていただきます。

きよらの郷でやさしさをひろげるために

『思いやり・つながり・支え合う』～新型コロナウイルスから考える福祉学習会～

新型コロナウイルスが日本で流行し始めて、約1年が経ち、その中で新しい生活様式が始まり今までとは違った生活を送るようになりました。

連日テレビ等で感染者数や発生場所等病気の面での報道はされていますが、コロナウイルスを起因とした、不安や差別の面については知られていないことが多く、今回、南小国中学校の生徒と市原小学校の児童へ、福祉学習会を開催しました。



市原小学校では、感染対策の必要性や、相手の気持ちを考えること、なぜコロナで差別が起こるかなど、児童たちと一緒に考えながら学習を行いました。

児童たちからは、『コロナが差別につながっているとは思わなかった。』『自分も差別や偏見をされたら傷つくので、差別や偏見をしないようにしたい。』などの感想があり、新型コロナウイルスの3つの顔を理解し、相手を思いやる気持ちを育むことができました。



児童たちは、コロナ禍における問題について、真剣に考えることができている、たくさん意見を聞くことができました。

学習内容は、新型コロナウイルスの**3つの顔**【**病気・不安・差別**】について理解をし、この3つの顔を、**新しい顔**【**健康・安心・共生**】に転換していくために必要な、『思いやり・みんな仲良くつながる・支え合い』について、生徒・児童自身の経験などから、日常や学校生活で身につけていけるように促した内容で実施しました。



南小国中学校での学習会では、コミュニティパートナーの『**河津サワ子さん**』をお招きし、コロナ禍での生活の変化や困ったことなどを生徒たちに話していただきました。生徒たちも実際に地域の方から話を聞くことができた為、南小国町内で起こっている変化について考え、理解することができました。

生徒たちからは、『これから先まだまだ続くコロナ禍の中で、自分がどのような生活をし、どのような態度で人と接すれば良いか学ぶことができた。』『人とつながることの大切さが分かった。困ったときなどは友達や先生に相談し、逆に相談された時は相手のことをしっかり考えたい。』などの感想があり、人と人がつながることで、『**1人ぼっちにならない・1人ぼっちにさせない**』ことの大切さを学び、コロナ禍での過ごし方について、理解を深めることができました。

チャレンジ小国GO！ 小国高校生ボランティア学習

福祉・ボランティア等の活動に興味のある生徒が、社会福祉・ボランティアの実践者・小国町・南小国町社会福祉協議会等が実施する事業や体験等へ参加し活動を行いました。

社会貢献や社会参加等の活動を通して、多くの人との交流を深め、社会福祉・ボランティアへの関心をもつていただき、楽しさ・深さ・大切さを感じて欲しいと毎年実施をしています。

今年度も多くの活動に高校生が参加して頂きましたのでご紹介します！！

ボランティア講習会（基礎編）～好きなことからつながるボランティア～

小国高校 1 年生を対象に、ボランティアの基礎について社協職員が講習会を行いました。

自分の好きなことがボランティアに繋がることや、実際に行われているボランティア活動の紹介等を行い、まずは楽しんでボランティア活動を行って欲しいことを生徒たちへ伝えました。

生徒たちからは、『ボランティアに対するハードルが下がった。』『高校3年間のうちに色々なボランティアに積極的に参加しようと思った。』などの感想があり、ボランティアについて理解を深めることができました。



グループワーク ボランティア活動について考える

災害ボランティア学習 ～土のうづくり体験～

今回の災害ボランティア学習では、『自然を愛する会阿南誠志さん』に講師として参加いただき、実際の災害現場での活動内容や、ボランティアとしての心構えなどを生徒たちへお伝えしていただきました。

実際に被災地で活動をされている阿南さんの話に、生徒たちは興味深く真剣に耳を傾けていました。

講習の後は、災害ボランティア活動の一つである、土のう作りを体験してもらいました。

『講話や土のう作り体験をして今まで以上に災害ボランティアに対する意欲が高まった。』『被災した時に自分ができることが少しでも増えた気がする。』などの感想があり、また、災害ボランティアとして活動したいという生徒も多く、今回の学習を通してボランティアに対する意欲を高めることができました。



手話学習会～聴覚障がい者を理解しよう～

11月6日・12日の二日間、小国支援学校で手話学習会を開催し、27名の生徒が学習会に参加され手話を学びました。

熊本聾学校の教師の方に講師を務めていただき、自分の名前や日常で使う手話、また、手話を使った寸劇などを行い生徒たちは楽しく学ぶことができました。

講師の方からは、『**手話をする人は障がい者ですか？いいえ違います。同じ人間です。平等に接して欲しい。**』と高校生たちへメッセージを送られました。

参加した生徒たちからは、『**手話は手の動きだけではなく、表情や伝えようとする気持ちが大切だということを知ることができた。**』『**手話は難しかったけど、素晴らしいものだと知った。**』など、学習会を通して手話・聴覚障がい者の方への理解を深めることができました。



傾聴学習会 ～傾聴の扉を開こう！～

12月18日、『NPO法人傾聴ネットキーステーション』より講師をお招きし傾聴について学習会を行いました。

熊本地震の際に行った傾聴活動支援動画の視聴や、コミュニケーションの取り方、人の気持ちをやわらくする言葉など、傾聴をする際に大事なことを学ぶことができました。

実際に生徒同士で、傾聴の練習を行い、どんな態度で話を聴くと相手が話しやすいかなどの体験をしたことで理解することができました。

講師の方から『**私たちは分かり合えないという状況の中で生活や仕事をしています。だからこそ大事なことは〔相手とわかるようとする努力〕をしながら会話することが必要になります。**』と生徒たちへメッセージを送りました。

生徒たちからは、『**人の話を聴くことができていなかった**ので、これからはしっかり人の話を聴いてから、自分の話をしたい。』『**傾聴には、心と体を傾けて全身全霊で聴くという意味を初めて知った。**』などの感想があり、傾聴という言葉の意味や、価値観の違いを認めるなど今回の学習を通して、傾聴することの大切さを学ぶことができました。



第16回 晴ればれりんどうボランティアの日

誰もが暮らしやすい美しい南小国町を創っていくことを目的に『晴ればれりんどうボランティアの日』を開催していますが、今年度はコロナ禍のため、たくさんの方が一同に集まったボランティア活動は行わず、実施期間を設定し（10月～11月）町民の方々には参加を呼びかけました。

今回は、実施期間内に18カ所で459名の方がボランティア活動に取り組みました。

このイベントを通して、南小国町のボランティア活動や地域住民による支え合いや助け合いなどの福祉活動の推進・意識高揚に繋がり、安心して暮らせる美しい南小国町が創られていくことを願っています。活動いただいた皆様有難うございました。



美化活動実施場所・活動内容

1. 関田～国道212号線沿い歩道～管理センターまでの歩道のゴミ拾い
関田～矢津田町道～管理センターまでのゴミ拾い
管理センター～市原小学校～鬼山～二川神社前（212号線沿い歩道）～管理センターまでのゴミ拾い
管理センター～平方面の歩道の除草・清掃
2. 馬場旧道の高枝切り、国道212号の歩道の除草・清掃活動・町道の除草清掃作業（馬場自治会）
3. 平・荒倉・動目木・志賀瀬・手形野の歩道等の除草・清掃作業（平・動目木・荒倉・志賀瀬・手形野地区）
4. 県道南小国波野線の除草作業（志津自治会）
5. 南小国中学校周辺（周囲1km圏内）（南小国中学校）
6. 馬場地域の除草・清掃作業（馬場高砂会）
7. 中湯田・樋ノ口地域の町道の清掃作業（中湯田・樋ノ口健全会）
8. 中中原地域の清掃活動・ゴミ拾い（中中原老人クラブ）
9. 市原保育園～竹の熊～千光寺の町道の除草・清掃作業（TST老人クラブ）
10. 旧星和小学校の清掃活動・庭木の手入れ（寿楽会）
11. 下中原地域の町道、公民館周辺のゴミ拾い・清掃活動（下中原老寿会）
12. 杉田地域のゴミ拾い・清掃活動（杉田長寿会）
13. 郵便局周辺の道路脇の除草作業（市原睦美会）
14. 荒倉・動目木・志賀瀬・手形野の歩道等の清掃作業（里長生会）
15. 上中原地域の草刈り・ゴミ拾い（上中原老人クラブ）
16. 神社・公民館・扇地区内町道の清掃作業（扇長寿会）
17. 神社の清掃活動（黒川三養会）
18. 田の原地域町道のゴミ拾い（健睦会）



※活動申込・報告があった団体・内容を記載

このイベントに参加して、改めて感じたことがあります。それは、この町に住んでいる人々は、町をとて、大事にしているということです。

清掃活動は楽しいものではありません。したがって、めんどろくさがる人が1人や2人いそうなものですが、参加した全ての人が一生涯懸命清掃活動に励んでいました。

僕は、これからもこの町を誇りに思い、町の維持・発展に少しでも貢献できるように努力していきたいと思っています。

今回の活動に参加した中学生の感想が熊日新聞に掲載されましたので、一部抜粋してご紹介します。